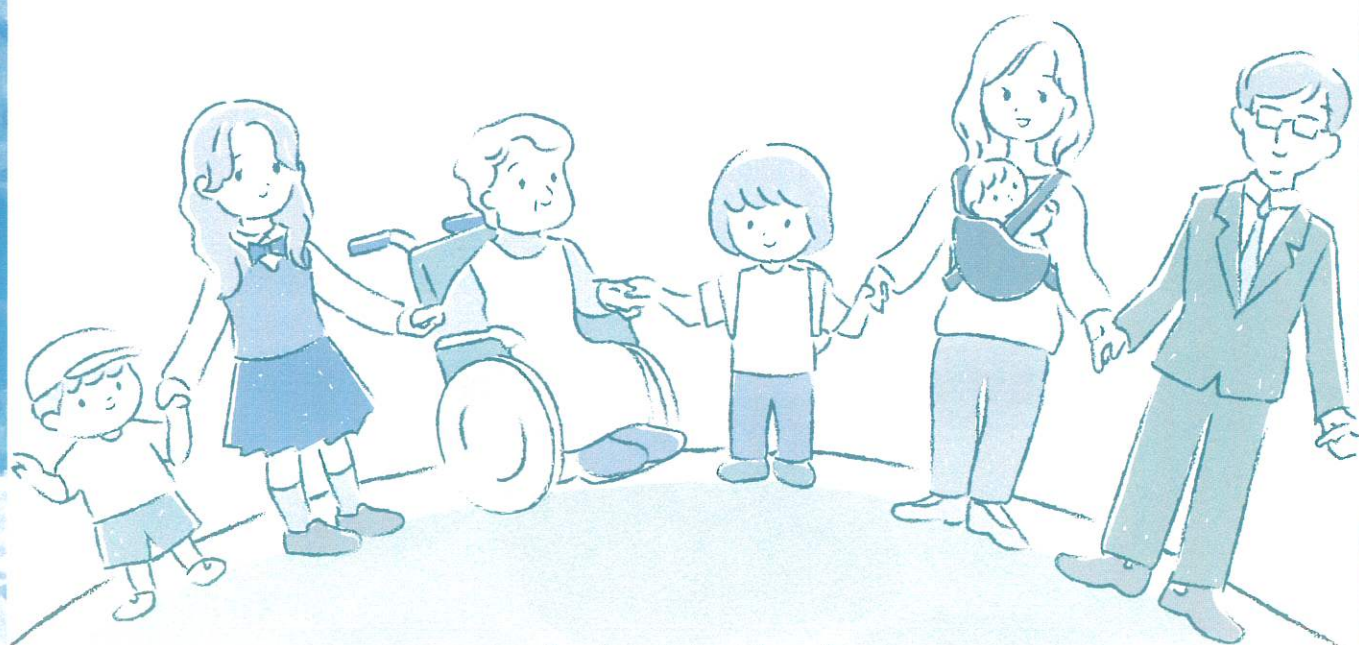


令和7年度 地域生活支援拠点事業

「だれもが自分らしく生きるために」

# 高次脳機能障害 について 知ってほしいこと



土佐清水市

## 1. 地域生活支援拠点事業とは？

地域生活支援拠点事業とは、障害児者の重度化・高齢化や「親なき後」に備え、その人がその人らしく、安心して地域で生活していくための3つの事業(①コーディネート事業②地域づくり事業(支援機関連携)③地域づくり事業《広報啓発》)を実施して、地域全体でその人の暮らしを支援する事業です。

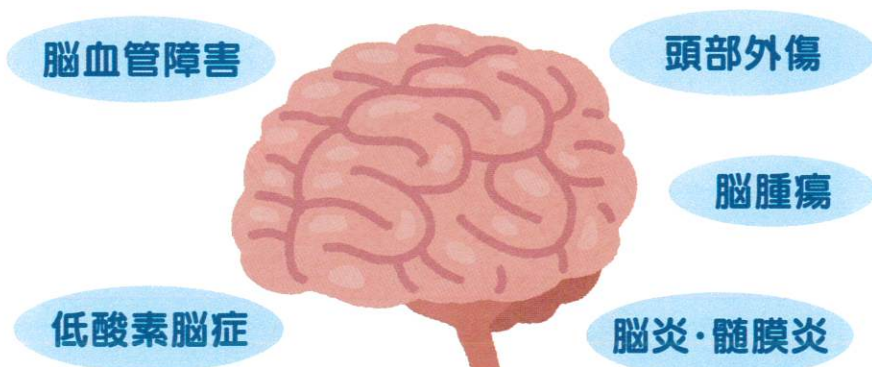
この冊子は、③地域づくり事業《広報啓発》で、障害児者が日常生活および社会生活を営むうえで生じる「社会的障壁」を除去し、障害への理解を深めるために作成するもので、今回は**高次脳機能障害**について、市民の皆さんに知っていただくきっかけとなるよう作成いたしました。

## 2. 高次脳機能障害を知っていますか？

高次脳機能障害は、**脳の損傷が原因で起こる認知機能の障害全般**をさします。そのため、**損傷部位**によって症状はさまざまです。分かっても上手く対応できない苦しみ、本人が症状や困りごとを認識できないなど、周囲に理解されにくく「**みえない障害**」と呼ばれます。

### 主な原因

- ・ 頭部外傷（交通事故、転倒、転落など）
- ・ 脳血管障害（脳梗塞、脳出血、くも膜下出血など）
- ・ その他の病気（脳炎、低酸素脳症、脳腫瘍など）



## ● 高次脳機能障害者支援の課題

高次脳機能障害は外見から分かりにくく、記憶障害・注意障害・遂行機能障害・社会的行動障害などにより、日常生活や就労、対人関係でつまづきやすい障害です。当事者ご本人に病識が乏しい場合もあり「困りごととして自覚できない」「周囲から怠けている、わがままなどと誤解される」ことで、支援につながりにくい現状があります。ご家族も対応の難しさや将来への不安、支援制度の分かりにくさから孤立しやすく、医療・リハビリから生活・就労支援へ移行する過程で支援が途切れることや、地域による支援資源の格差も課題です。全国には約23万人の当事者がいるとされており、決して一部の人だけの問題ではありません。人口比で表すと、土佐清水市では約200人前後の高次脳機能障害の方がいると推測され、地域社会全体で向き合うべき身近な課題です。

(厚労省「令和4年 生活のしづらさなどに関する調査」)

## ● 高次脳機能障害者支援法について

高次脳機能障害者支援法は、令和7年12月24日に公布され、令和8年4月1日から施行されます。これまで制度の谷間に置かれがちであった高次脳機能障害者への支援を、医療・リハビリから生活支援、就労・社会参加まで「切れ目なく」保障することを目的とし、国および自治体に対して体系的かつ計画的な施策の実施を求めています。基本理念には、支援が体系的かつ実効的に行われることが明記されており、地域の実情に応じた継続的な支援体制の構築が重視されています。具体的には、都道府県が高次脳機能障害者支援センターを設置または指定し、普及啓発、相談支援、関係機関への支援や研修の中核を担うこととされています。また、専門的な診断・治療・リハビリテーションを行う医療機関の確保と連携の推進が位置づけられています。さらに、医療・保健・福祉・教育・労働・就労支援機関、学識経験者、患者・家族等で構成される地域協議会を通じて、地域課題の共有と関係機関の連携強化を図る仕組みが示されています。加えて、実施した施策の公表による透明性の確保が求められており、属人的・断片的な支援から脱却し、地域間格差の是正と当事者本位の支援体制の構築が期待されます。

# 高次脳機能障害の主な症状

## 注意障害

必要なものに意識を向けることや集中力を持続することなどがうまく出来なくなった状態です

### ◆よくある症状

- 気が散りやすい
- ぼんやりしている
- 作業をするときにミスが多い
- ふたつのことを同時に出来ない



## 社会的行動障害

状況に合わせて行動や感情をコントロールすることが出来なくなった状態です

### ◆よくある症状

- 何でもないことに突然怒る
- 我慢が出来なくなる
- 場違いな言動をする
- ちょっとしたことにこだわる
- 他人を頼り子供っぽくなる



## 記憶障害

物事を思い出すことや経験や情報を新たに覚えることが出来にくくなる状態です

### ◆よくある症状

- 今日の日付がわからない
- 物の置き場所を忘れる
- 約束を忘れる
- 作業の手順が覚えられない



## 病識低下

自分が障害をもっていることが理解出来ず障害がないように振舞ったり、否定する状態です

### ◆よくある症状

- 能力以上のことを平気で行おうとする
- 周囲の助言を聞き入れない
- 必要な治療や訓練を受け入れない



## 遂行機能障害

目標達成に向けて計画を立て、段取りよく行動することが出来にくくなる状態です

### ◆よくある症状

- 計画が立てられない
- 効率よく作業が出来ない
- 思いつきで行動する
- 手順が分からなくなる
- 本来の目的が分からなくなる



## 失語症

「話す」「聴く」「読む」「書く」「計算する」など言語の処理に支障をきたした状態です

### ◆よくある症状

- 思うように話せない
- 物の名前が言えない
- 聞き取り理解が出来ない
- 計算が出来ない



### 3. 支援機関

#### ● 特定非営利活動法人 脳損傷友の会高知 青い空

青い空は「安心して集まる場が欲しい」「少しの時間だけかもしれないけど、一息つこう」…

そんな思いからスタートしました。

病気や事故などで脳に損傷を受け、その後遺症として高次脳機能障害がある当事者と家族の会です。

高次脳機能障害についての正しい知識や情報を提供し、社会参加を促進するための事業を行うことで、当事者の日中活動の場を確保し、当事者・家族が安心して生活できる環境を整えるための活動を行っています。また、令和元年5月より、高次脳機能障害支援普及事業として、高知県から高次脳機能障害支援拠点機関を受託し、取り組んでいます。



#### 高知県高次脳機能障害 支援拠点センター青い空

住 所：高知県高知市廿代町  
2-22

TEL：090-6535-6370

e-mail:  
hbd-support@blue-sky-  
kochi.com



#### 青い空月例会

日 時：毎月第3日曜日午前  
10時～12時

場 所：NPO法人脳損傷友の  
会高知青い空

参加費：無料

問合せ：NPO法人脳損傷友の  
会高知青い空

TEL：088-803-4100



#### 青い空女子会

日 時：毎月第2土曜日午前  
10時～12時

場 所：NPO法人脳損傷友の  
会高知青い空

参加費：無料

問合せ：NPO法人脳損傷友の  
会高知青い空

TEL：088-803-4100

## 『できる』を増やし、次の一歩へ ～高知ハビリテーリングセンターのご紹介～

当センターは高知市春野町の豊かな田園風景が広がる地域にあり、入所しながらハビリテーションに取り組める、県内唯一の障害者支援施設です。土佐清水市の方も、もちろん利用可能です。障害のある方の「これからの生活が不安」「次の目標に向けて準備をしたい」という気持ちに寄り添い、生活の中での自分でできることを少しずつ増やし、仕事や趣味、家庭生活、自動車運転の再開など、その人らしい社会生活を送るための力を身につけるトレーニングセンターです。

### ■ 対象となる方と期間


- ・概ね 18 歳～64 歳の方
- ・利用期間は最長で 1 年 6 か月
- ・退院直後から利用を希望される方や地域生活に困りごとがある方
- ・高次脳機能障害のある方(ご利用者の 6 割以上が該当します)
- ・生活や社会復帰に向けた準備をしたい方

### ■ センターでの生活

センターでは、規則正しい生活リズムを整えながら、個別訓練やグループ活動に取り組みます。

#### ■ 1 週間のプログラム

	月	火	水	木	金	土
9:00～ 9:30	体 操 ・ 朝 礼					
9:30～ 11:20	散歩	スポーツ レク 	散歩	散歩	散歩	散歩
	園芸		パソコン・作業 生活など	運動	セルフ チャレンジ	アートワーク 運動など
11:20～ 13:00	昼 食 ・ 休 憩 					
13:00～ 14:30	作業・生活	スポーツ レク 	コミュニケーション (ボードゲーム)	社会学	セルフ チャレンジ	パソコン・作業 生活など
	アートワーク 運動など		作業・生活	作業・生活		
14:30	イベント行事 などに合わせた 取り組みも!					
15:00	片付け・掃除・振り返り 余暇・自主活動・送迎					



プログラムは  
個人のニーズに  
合わせて個別に  
作成します

※上記プログラムは一例です。



センター外観



食堂



居室



浴室

## ■ 高次脳機能障害の専門的トレーニングが受けられます

理学療法士、作業療法士、看護師などの専門職がチームで支援します。お一人おひとりの目標や体調に合わせて支援計画を作成し、無理のないペースで取り組みます。一般的に高次脳機能障害は体の回復よりも時間がかかり、その症状は周囲の方から理解されにくい特徴があります。同年代の方の中で専門的なトレーニングに取り組みたい方、生活の中で困りごとのあるご家族の方はぜひご相談ください。

## ■ ご利用について

利用のご相談は、土佐清水市福祉事務所へお問い合わせください。  
見学のご希望や利用料金、サービス内容の詳細については、裏面の連絡先までお気軽にお問い合わせください。



## ● 相談窓口・支援機関

	名称	住所	電話番号
相談支援事業所	ふくしねっとCoCoてらす 相談支援事業所	土佐清水市浜町6-22 (旧・清水保育園)	0880-87-9209
	社会福祉法人 土佐清水市社会福祉協議会	土佐清水市寿町11番9号 社会福祉センター内	0880-82-3500
	相談支援事業所 ほしつなぎ	宿毛市平田町戸内1858-3	0880-63-9390
支援機関	特定非営利活動法人 脳損傷友の会高知 青い空	高知市塩屋崎町2丁目 12-42	088-803-4100
	高知県高次脳機能障害 支援拠点センター 青い空	高知市廿代町2-22	090-6535-6370
	高知ハビリテーリングセンター	高知市春野町内ノ谷 63番地6	088-842-1921



この冊子は、土佐清水市の委託を受けて作成しています。

特定非営利活動法人ふくしねっとCoCoてらす（受託事業者）

〒787-0321 土佐清水市浜町6番22号

TEL 0880-87-9209 FAX 0880-87-9216

メール cocoterrace@fukushinet.or.jp

ホームページ <http://www.fukushinet.or.jp>

土佐清水市福祉事務所

〒787-0392 土佐清水市天神町11番2号

TEL 0880-82-1118 FAX 0880-87-9012

メール hukushi@city.tosashimizu.lg.jp